

◆生まれた子牛には一刻も早く初乳を

母牛の分べんが近づいたら、牛房内に敷料を十分に入れ、牛体、とくに乳房が汚れないようにします。

「牛は便所と寝室と食堂が同じ部屋にあるのだから、病気にならないほうがおかしい」という話を聞いたことがあります。全くその通りだと思います。ですから子牛が生まれてくる時は、とくに手をかけてやらなければなりません。

子牛は恵まれた環境の母牛の体内から、バイ菌だらけで温度変化の激しい外界へ突然放り出されるわけですから十分な管理が必要です。全くの無菌状態で生まれてくるのですから、一刻も早く初乳を飲んで、バイ菌に対する抵抗力（免疫）や、生きていくために必要なビタミンなどを吸収しなければ、虚弱な子牛になってしまいます。

また、分べん直後の「へそのお」は、ふさがっておらず、子牛の腹の中までつながっていて、バイ菌が侵入し病気の原因となるのでヨードチンキなどで消毒しましょう。

